

わずかな時間も惜しい、その現場に！

# 災害緊急対策用 可搬型監視カメラ

Emergency movable monitoring camera system

## eTM002c

迅速かつ効率的な運搬  
〔台車仕様〕

川の氾濫や決壊、土砂災害、道路の崩落など、緊急時に監視が必要となった場所に幅広く対応できる可搬型の監視カメラシステム。バッテリー、ソーラーパネル、カメラなどの必要な機器のほとんどが台車の中に収まるよう設計し、コンパクトなサイズを実現しました。また、悪路でも走行性のよい大型タイヤを使用することで移動効率を上げ、かつ工具不要な組立方式により現地到着から設営完了まで短時間で行うことが可能。災害発注時の緊急性や一時的な監視の必要性に応えます。



POINT

1

迅速かつ  
効率的な運搬！

POINT

2

設営時間は  
約10分！

POINT

3

インフラ環境の  
厳しい場所でもOK！

POINT

4

設営はたったの  
4ステップ！

## 設営完了までの4 STEP

※下の画像はプロトタイプで撮影



### STEP 1 運搬

設置現場まで機器を運搬します。  
運搬には台車1人、ソーラーパネル設営ブロック1人の計2人の作業員が最低限必要です。



### STEP 2 設置場所決定

設置する場所を決めます。  
ソーラーパネルの場合は日が当たる方向に注意して、設置場所を決定します。



### STEP 3 組立

組み立て、配線を行います。  
組み立ては、災害対策用可搬型カメラ設営手順書に従って行ってください。



### STEP 4 稼働

組み立てを終え、電源を投入すれば設営完了です。  
STEP3からSTEP4の所要目安時間は約10分になります。

## 2024年 能登半島の災害現場にて、 2次災害の監視に採用されました！



2024年1月の能登半島地震、そして同年10月の石川豪雨災害と2度にわたり、災害現場への出動依頼があり、2次災害の、発生防止と監視のために、設置稼働しました。現場到着後、設置から稼働開始まで約10分で完了する機動性は、一刻を争う災害現場で非常に高く評価されました。

## 車両が立ち入れない厳しい地域には バックパックで運搬する「山岳仕様」を！



重機、車両が立ち入れない場所でも人が歩いて行ける場所であれば、どこでも設置可能な「山岳仕様」。わずか4名ですべての資材を背負って運ぶことができます。現地の状況に合わせて安全かつ最適に設置します。山間部の土砂災害現場の監視などに向いています。

### 製品仕様

#### ■カメラ

画像解像度	・固定カメラ	H.264・H.265 MJPEG 2メガピクセル【16:9】、max.60fps
	・PTZカメラ	H.264・H.265 MJPEG 4メガピクセル【16:9】、max.60fps

#### ■ルータ

WAN	LTE (NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク)
LAN	100BASE-TX/10BASE-T×2ポート (MDI/MDI-X 対応)

#### ■電源

鉛蓄電池	1,200Wh (100Ah/12V) 予備バッテリー(OP)と交換可能
------	---

#### ■ソーラーパネル

定格出力 | 160W

#### ■台車

転倒防止機能	アウトリガー、固定用フック
悪路走破性	大型タイヤ採用

#### ■本体特徴

カメラ設置高	(最大) 約3m
本体重量	T.B.D
展開範囲	約2m×約2m=約4㎡
展開推奨人員	2名
運搬推奨車	ワンボックス車